

2014年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社アイネット

2013年11月21日

東証1部
証券コード 9600

次第	プレゼンター	所要時間
はじめに	経理・財務部長 松本 将浩	約10分
第2四半期業績概要		
業界環境・ 当社グループの状況	代表取締役社長 梶本 繁昌	約20分
通期業績予想		
質疑応答		



1. はじめに（会社概要）

2. 第2四半期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの状況

5. 2014年3月期通期業績予想

inet 《参考資料》会社概要(2013年9月30日現在)

- 商号 株式会社アイネット
- 設立 1971年4月22日
- 本社 横浜市西区みなとみらい3-3-1
- 資本金 3,203百万円
- 代表者
代表取締役会長 池田 典義
代表取締役社長 梶本 繁昌



1st Data Center



- 子会社
株式会社ISTソフトウェア
株式会社アイネット・データサービス
- 社員数 1,357名(連結)
908名(単独)
- 事業所／支店／データセンター
東京事業所 札幌支店、仙台支店、中部支店
大阪支店、中四国支店、福岡支店
第1データセンター、第2データセンター



2nd Data Center



1. はじめに（会社概要）

2. 第2四半期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの状況

5. 2014年3月期通期業績予想

inet 2014年3月期第2四半期業績概要(連結)

(単位:百万円・%)

	2013年3月期-2Q		2014年3月期-2Q		前年同期比
	金額	比率	金額	比率	増減額
売上高	10,456	100.0	11,135	100.0	+679
売上原価	7,914	75.7	8,396	75.4	+482
売上総利益	2,542	24.3	2,739	24.6	+196
販管費	1,872	17.9	1,902	17.9	+29
営業利益	669	6.4	836	7.5	+167
経常利益	609	5.8	753	6.8	+143
税引前利益	743	7.1	785	7.1	+41
四半期(当期)純利益	427	4.1	456	4.1	+29

inet サービス区分別販売実績・営業利益(連結)

(単位:百万円)

	2013年3月期-2Q		2014年3月期-2Q		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
					金額	金額
情報処理サービス	4,120	364	4,370	423	① +249	+58
(営業利益率)	—	8.9%	—	10.3%	—	+1.4%
システム開発サービス	5,876	281	6,464	395	② +587	+113
(営業利益率)	—	4.8%	—	6.7%	—	+1.9%
システム機器販売	459	23	301	23	③ Δ157	Δ5
(営業利益率)	—	5.1%	—	4.1%	—	Δ1.0%
合計	10,456	669	11,135	836	+679	+167
(営業利益率)	—	6.4%	—	8.0%	—	+1.6%

(主な要因)

- ①データセンターサービス・クラウドサービスが好調に推移し、増収増益
- ②金融業向けのシステム開発が増加、プロジェクト管理強化により利益増加
- ③前期あったSS向けPOS等の販売が一部収束し、減収

(注)営業利益については当社独自の簡便法で作成しており、数値は参考値(目安)とさせていただきます。

(単位:百万円・%)

	2013年3月期末		2013年9月期末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
流動資産	7,566	33.7	7,572	32.2	+6
固定資産	14,892	66.3	15,939	67.8	① +1,047
繰延資産	—	—	—	—	—
資産合計	22,459	100.0	23,511	100.0	+1,052
流動負債	6,353	28.3	6,700	28.5	+347
固定負債	7,250	32.3	6,537	27.8	△713
負債合計	13,604	60.6	13,238	56.3	② △366
純資産	8,854	39.4	10,273	43.7	③ +1,419
負債・純資産合計	22,459	100.0	23,511	100.0	+1,052

(主な要因)

- ①第2データセンターのⅡ期棟建設等に伴う固定資産の増加
- ②短期借入金増加+1,540百万円、その他流動負債△989百万円、長期借入金返済△749百万円
- ③自己株式の売出し 1,143百万円、剰余金の増加 240百万円

inet キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

	2013年3月期-2Q	2014年3月期-2Q	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	517	① 234	△282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△414	② △1,831	△1,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99	③ 1,607	+1,706
現金及び現金同等物の増減額	2	10	+7
現金及び現金同等物の期首残高	2,556	2,474	△81
現金及び現金同等物の期末残高	2,559	2,485	△73

(主な要因)

①[増加要因]利益および償却等	+1,400百万円
[減少要因]法人税等の支払並びに、その他債務の減少	△1,215百万円
②[減少要因]固定資産(データセンター拡充等)の取得	△1,935百万円
③[増加要因]短期借入金の増加および自己株式の処分	+2,634百万円
[減少要因]長期借入金返済	△749百万円



1. はじめに（会社概要）

2. 第2四半期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの状況

5. 2014年3月期業績予想

■ 事業方針

● エンドユーザー志向

- ・お客様に選ばれ信頼関係を構築
- ・多面的な取引の実現

エンドユーザー比率 55.1%

● スtockビジネスの拡大

- ・継続的な売上／利益の確保
- ・人当たり利益の増加

ストックビジネス比率 39.3%

■ 当社グループの強み

安全なデータセンターでシステム構築から運用、さらにはBPO業務までお客様に最適なITサービスを**ワンストップ**で提供

システム開発サービス

コンサル
要件定義

システム
設計構築

情報処理サービス

受託計算
データセンター
クラウドサービス

プリント
封入封緘



1. はじめに（会社概要）

2. 第2四半期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの状況

5. 2014年3月期通期業績予想

■ 国内IT市場規模は前年比成長

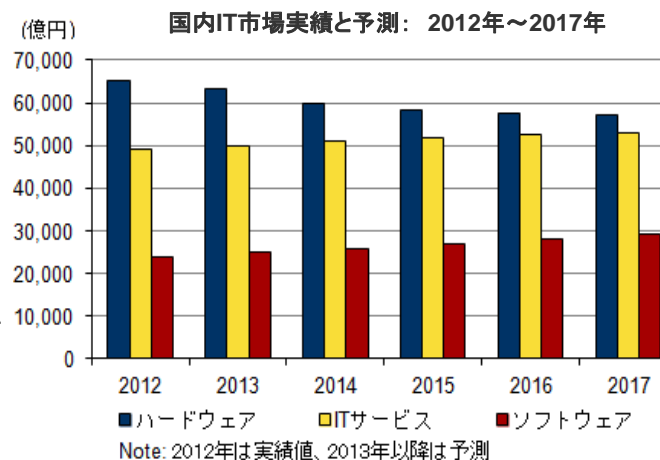
- 2013年 国内IT市場規模は前年比+0.1%の13兆8,288億円

出典: IDC Japanプレスリリース(2013年11月7日)「国内製品別IT市場予測を発表」より

- ・クラウドサービスの利用によりハードは減少
- ・一方、ITサービスやパッケージソフトは増加
- ・企業はクラウド理解が進み
⇒オンプレミスとクラウドを組み合わせ利用

■ ITトレンド

- スマートデバイスの活用
専用端末からの置き換えや、カメラ・GPSを高度に活用。BYODの浸透。
- M2Mによるビックデータ活用
設備のセンサーなどのネット接続が2009年の25億個⇒2020年300億個に
企業は「ビックデータ活用」に商機を求める
データセンター需要も更に拡大



出典: IDC Japanプレスリリース
「国内製品別IT市場予測を発表(2013年11月7日)」より
転載禁止

■ 堅調なSS向けビジネス (注)SS=ガソリンスタンドのこと

- 国内SS店舗数は減少傾向も当社処理は増加
 - ⇒ 新規元売・大手特約店案件準備中
 - ⇒ 新サービス展開
 - 債権保証／非対面決済の処理拡大中

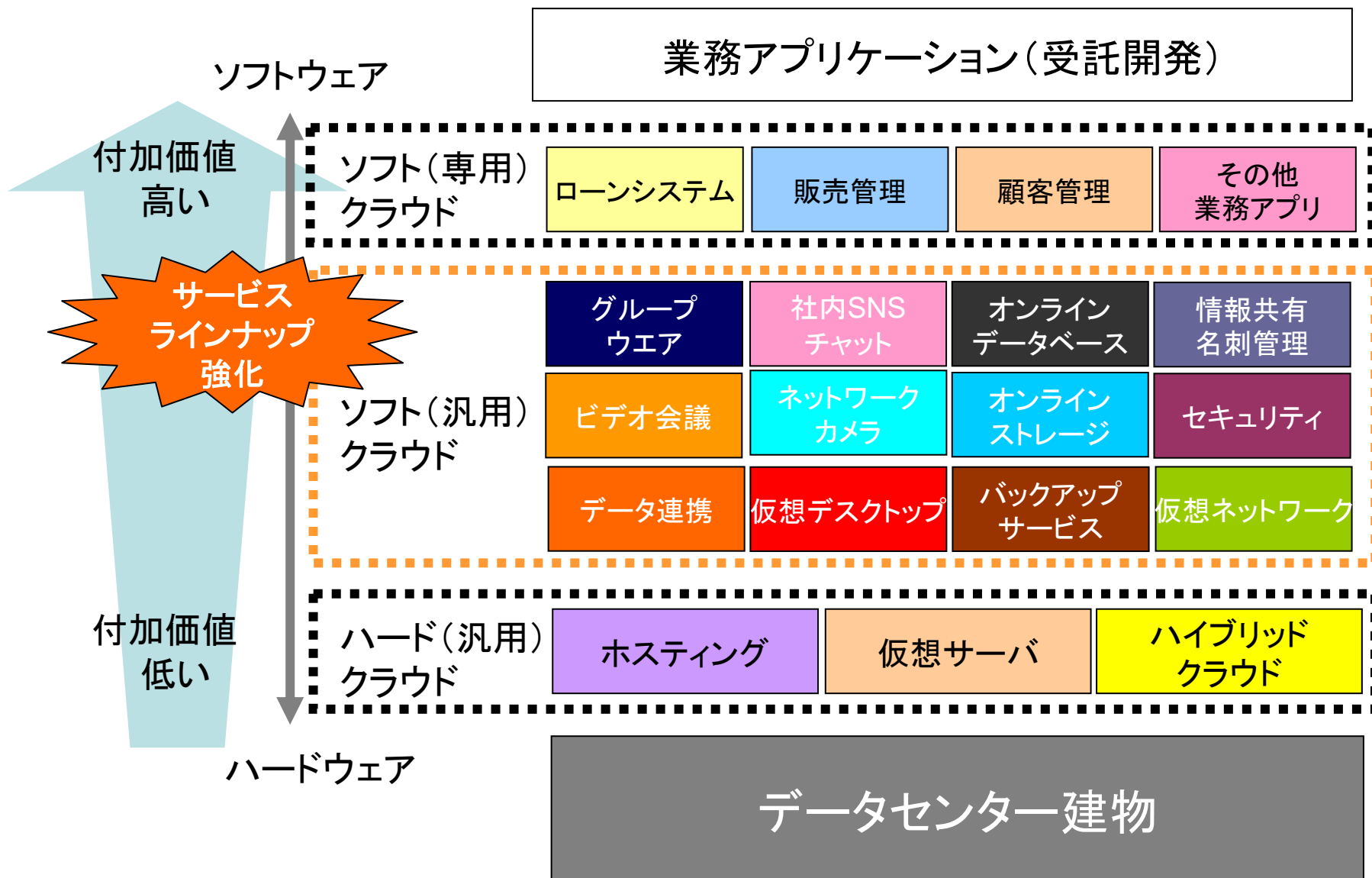
■ データセンタービジネス／クラウドサービス

- データセンター市場拡大を背景に受注拡大中
 - ⇒ 第2DCⅡ期棟の引合いはラック数換算で約3倍あり
 - 設備・立地条件・価格面etc.で競争優位性
 - ☆ 差別化 = DC + クラウド + システム開発 + BPO
- 新クラウドサービス「Dream Cloud®」のラインナップ強化
 - ⇒ 複数の日本品質サービスをアジア展開企画中

写真は省略させていただきます。

第2データセンターⅡ期棟
稼働中のⅠ期棟(右)の隣接地に建設

inet クラウドサービスの展開強化



Dream Cloud Innovation Day 2013

写真は省略させていただきます。

2013/7/3 東京ミッドタウン

当社単独のイベント
来場者数は1,200名超
知名度、関心度も上昇中

写真は省略させていただきます。

2013/11/19 東京ミッドタウン

☆企業収益の回復で過去の凍結案件や新規投資が活発に

■金融業関係

⇒リテールローン市場に明るさ

差別化のため、システム開発案件が増加中

⇒金融業向け活動原価(ABC)計算システムの販売展開

大手銀行での採用決定

ユーザ会開催⇒業界内での知名度向上へ

■製造業・流通業関係

⇒円安や住宅投資回復で収益回復して投資再開

自動車・ハウスメーカーなどを中心に受注案件増加



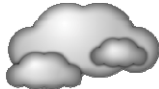

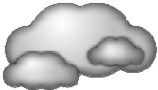







⇒消費税率変更やWinXP対応など

■制御／防衛／宇宙分野

⇒医療、防衛関連は引き続き堅調

⇒9/14に打上げ成功したイプシロン搭載した衛星や

‘14年打上げ予定の「はやぶさ2」設計・検査など安定的に受注獲得

	2013年3月期 昨年度末		2014年3月期 今上期	
	業界の景況感	当社の景況感	業界の景況感	当社の景況感
石油業 販売店含む				
金融業 その他金融業				
製造業 制御・宇宙				
データセンター サービス				
クラウド サービス				



1. はじめに（会社概要）

2. 第2四半期業績概要

3. 当社Grpの事業方針・強み

4. 業界環境・当社Grpの状況

5. 2014年3月期通期業績予想

（単位：百万円・％）

	2013年3月期2Q		2014年3月期2Q		前期比	2014年3月期		進捗率
	金額	比率	金額	比率	増減額	金額	比率	
売上高	10,456	100.0	11,135	100.0	+679	22,700	100.0	49.1
売上原価	7,914	75.7	8,396	75.4	+482	16,960	74.7	49.5
売上総利益	2,542	24.3	2,739	24.6	+196	5,740	25.3	47.7
販管費	1,872	17.9	1,902	17.1	+29	3,850	17.0	49.4
営業利益	669	6.4	836	7.5	+167	1,890	8.3	44.3
経常利益	609	5.8	753	6.8	+143	1,730	7.6	43.6
当期(四半期)純利益	427	4.1	456	4.1	+29	1,000	4.4	45.7

（単位：百万円・％）

	2013年3月期		2014年3月期		前期比
	金額	比率	金額	比率	増減額
売上高	21,587	100.0	22,700	100.0	+1,112
売上原価	16,358	75.8	16,960	74.7	+601
売上総利益	5,228	24.2	5,740	25.3	+511
販管費	3,690	17.1	3,850	17.0	+160
営業利益	1,538	7.1	1,890	8.3	+351
経常利益	1,487	6.9	1,730	7.6	+242
当期純利益	885	4.1	1,000	4.4	+115
1株当たり利益(円)	67.9	—	70.6 (76.7)	—	+2.7 (+8.8)

前期に引き続き過去最高の営業利益を更新、経常利益も過去最高益を更新

inet サービス区分別 売上・営業利益予想(連結)

(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報処理サービス	8,486	826	9,500	1,023	①+1,013	+196
(営業利益率)		9.7%	—	10.7%		
システム開発サービス	12,291	668	12,430	822	② +138	+153
(営業利益率)		5.4%	—	6.6%		
システム機器販売	808	42	770	45	△38	+3
(営業利益率)		5.3%	—	5.8%		
合計	21,587	1,538	22,700	1,890	+1,112	+352
(営業利益率)	—	7.1%	—	8.3%	—	+1.2%

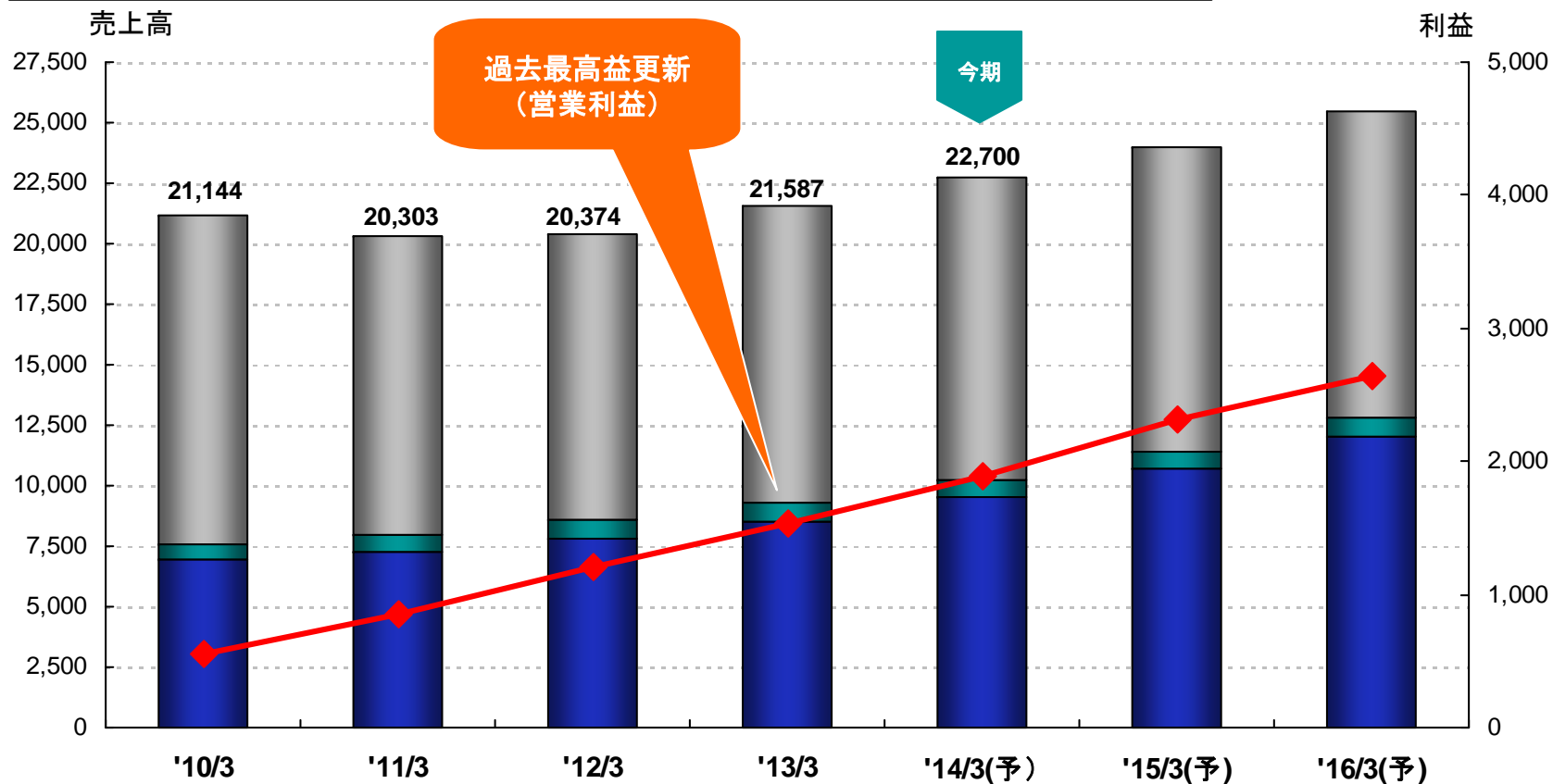
①クラウドサービス等の伸長により第2DCⅡ期棟の償却負担を吸収し増収増益

②システム需要は下期も継続、増収増益

(注)営業利益については当社独自の簡便法で作成しており、数値は参考値(目安)とさせていただきます。

inet 中期収益イメージ(連結)

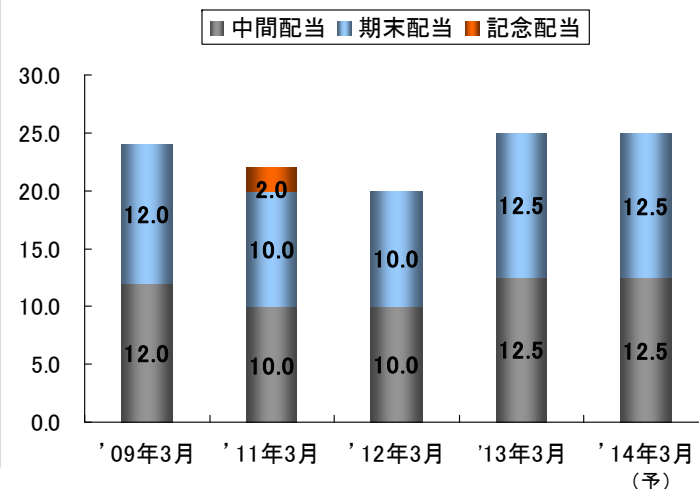
■ 情報処理サービス
 ■ 機器販売
 ■ システム開発
 ◆ 営業利益
 (単位: 百万円)



	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3(予)	'15/3(予)	'16/3(予)
ストックBiz売上高	6,956	7,252	7,802	8,487	9,500	—	—
ストックBiz構成比	32.9%	35.7%	38.3%	39.3%	41.9%	—	—

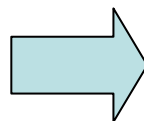
《配当方針》

将来の資金需要に備え
内部留保しつつ
安定配当を継続実施



1株当たり年間配当金の計画

2013年3月期
25.00円
中間(12.50円)
期末(12.50円)



2014年3月期(予定)
25.00円
中間(12.50円)
期末(12.50円)

本日はご多用中にもかかわらず
説明会にお越しいただき誠に
ありがとうございました。



当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がありますことを、予めご承知頂きますようお願い申し上げます。

当資料に掲載されているサービスおよび商品などは、株式会社アイネットあるいは各社の登録商標または商標です。

お問い合わせは、下記連絡先までお願い致します。

企画本部 経営企画・IR部 高宮、杉岡

TEL 045-682-0808

E-Mail infoir@inet.co.jp

URL <http://www.inet.co.jp>